

# 京都大学次世代研究者育成支援事業「白眉プロジェクト」【グローバル型】

## Q & A

### ●【グローバル型】及び【部局連携型】について

Q1:【グローバル型】と【部局連携型】を導入した狙いを教えてください。

A:これまでの白眉プロジェクトにおいては、高い志を有する研究リーダーの育成を目的として、ひたすら研究に専念して頂いておりましたが、創造性豊かで、広い視野と柔軟な発想を持った次世代をリードする研究者として活躍するとともに、次代の学術を担える人材の育成を目的として、平成 27 年度の公募より、これまでの白眉プロジェクトを踏襲した【グローバル型】に加え、文部科学省・卓越研究員事業を活用し、テニユアトラック制を導入した【部局連携型】による募集を開始しました。

【グローバル型】と【部局連携型】のいずれにおいても、自立的な研究環境を与え研究に従事して頂くとともに、研究活動のエフォート率が 60%程度を下回らない範囲で教育や委員会等の諸活動を行うことができるものとします。特に【部局連携型】においては、テニユアトラック制の観点から、研究と併せてこれらの活動を行うことが期待されます。

Q2:【グローバル型】と【部局連携型】の制度上の違いを教えてください。

A:【グローバル型】により採用された方は白眉センターに所属して頂きますが、【部局連携型】で採用された研究者は受入先部局に所属し、併せて白眉センター教員を兼任して頂きます。なお、【グローバル型】・【部局連携型】ともに、採用された研究者には白眉研究者の称号を付与し、セミナー等の行事に参加して頂きます。

なお、本 Q & A は【グローバル型】の公募要領等に係る内容であるため、【部局連携型】として募集するポストにおける採用条件等の詳細につきましては、国によるポスト一覧化公開においてお知らせいたします。

Q3:【部局連携型】と文部科学省・卓越研究員事業の関係について教えてください。

A:京都大学では、文部科学省・卓越研究員事業を活用し、白眉プロジェクト【部局連携型】による募集を行います。具体的には、文部科学省・卓越研究員事業における雇用調整期間に、白眉プロジェクト【部局連携型】として公表したポストの採用を希望する卓越研究員候補者を対象に、白眉センター専門委員会による審査を行います。なお、卓越研究員事業の詳細については下記の文部科学省 HP を御確認下さい。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/takuetsu/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm)

Q4:【グローバル型】と【部局連携型】は、同時に応募できるのでしょうか。

A:どちらかを選択してください。つまり、【グローバル型】への応募と併せて、文部科学省・卓越研究員事業への申請も検討される場合は、希望研究機関登録にあたって、第一希望から第三希望のポストに京都大学が提示するポストを選択することは控えて下さい。

なお、同一人物が【グローバル型】及び【部局連携型】の両方に応募したことが審査過程において発覚した場合、その時点で【グローバル型】への応募は辞退頂くことになります。

## ●公募要領について

### 【対象とする分野について】

Q5:どのような分野が対象になるのでしょうか。

A:人文学、社会科学、自然科学の全分野を対象とします。

### 【応募資格について】

Q6:対象年齢の記載がありませんが、上限や下限はあるのでしょうか。

A:研究分野によって准教授又は助教になる者の平均的な年齢は様々ですので、実年齢で一律に上限や下限は設けておりません。

Q7:現在博士課程3回生で、今年3月に博士号取得見込みなのですが、応募資格はあるのでしょうか。

A:公募要領に記載している「博士の学位を有する者と同等以上の学術研究能力を有する者」の定義は、各分野等により様々ですので、一律に定義する訳ではありません。応募者本人が当該能力を有している自負があれば応募することは可能です。

Q8:昨年度の公募で不採用となったのですが、今年度の公募に応募できるでしょうか。

A:応募可能です。

### 【採用職種について】

Q9:本プロジェクトにおける准教授と助教の職務の違いを教えてください。

A:本プロジェクトでは、研究に従事して頂くことを主旨としていますので職務上の違いはありません。研究者としての将来のキャリアパスを考慮の上、自身で判断し応募してください。

Q10:准教授又は助教の区分はどのように決まるのでしょうか。また、任期についてもどのように決まるのでしょうか。

A:准教授又は助教の区分は、自身で決めていただき提案書に記載していただけます。審査に当たっては、応募者が自身で選択した区分について、選択した職に対する能力があるかどうかを判断します。このため、例えば、准教授として不採用であった者が、助教として十分な能力があったとしても、助教で採用されることはありません。また、応募後に希望する職を変更することもできません。

採用期間は原則5年間であるため、2017年10月1日に採用された場合は2022年9月30日までです。但し、前職の事情等により、例えば2017年12月1日に採用された場合においても、任期は2022年9月30日までとなります。

Q11:希望する職について、「准教授」・「助教」のどちらでも構わない場合、そのように応募できるのでしょうか。

A:応募者自身で、これからの研究者としてのキャリアを考えていただいた上で、必ず一つを選択いただけます。選択がない場合には、審査に付されません。

## 【待遇について】

Q12:給与額はいくらになるのでしょうか。

A:京都大学特定有期雇用教職員就業規則等に基づいて、本人のこれまでの研究経歴・研究業績など経験及び能力に応じて決定することとしておりますので、一律にいくらということはありません。詳しくは、下記（参考例）を参照下さい。なお、上記の要素を加味して給与額の決定を行いますので、応募者の現在の給与額を保証するものではなく、場合によっては下回る可能性もあります。

### （参考例）

#### 1. 給与

##### （1）基本給

俸給月額 40 万円～

職種別の俸給月額の例

准教授：55 万円～70 万円

助教：40 万円～60 万円

例えば、俸給月額 50 万円の場合、

年俸制特定教員の年俸は、600 万円（50 万円×12 月）となります。

##### （2）手当

諸手当（通勤手当、住居手当、扶養手当、期末・勤勉手当等）は支給されません。

#### 2. 退職金

支給されません。

#### 3. 健康保険、年金

文部科学省共済組合及び厚生年金に加入していただきます。

Q13:採用後に他機関でも職を持ってよいのでしょうか。

A:白眉研究者は常勤（フルタイム）の教員ですので、原則として同時に他機関・他事業で雇用されることや事業を営むことはできません。兼業は、一定の条件の範囲内であれば、事前に許可を申請することで、認められることがあります。

Q14:期末・勤勉手当や通勤手当等は支給されるのでしょうか。

A:支給されません。

Q15:赴任旅費の支給はあるのでしょうか。

A:支給されません。

Q16:他の国立大学に勤務している者ですが、もし採用された場合には退職金は通算されるのでしょうか。

A:通算されません。

Q17:職員宿舎に住むことは可能なのでしょうか。

A:貸与申請することは可能です。なお、空き状況等もありますので、希望通りになるとは限りません。

Q18:育児休暇の取得は可能でしょうか。また取得した場合の任期の取扱いについてはどうなるのでしょうか。

A:取得は可能ですが、当該育児休業期間をあらかじめ定められた任期に加算することは出来ません。

Q19:日本学生支援機構が定める免除職に該当するでしょうか。

A:5年間の任期付きではありますが、常勤フルタイムの研究職ですので、免除職制度の基準に該当します。

Q20:JST さきがけ研究者との兼業は可能でしょうか。

A:兼業手続きをしていただき、承認されれば可能です。

Q21:自身の研究のより一層のステップアップを図るために教育活動にもある程度携わりたいと考えていますが、可能でしょうか。

A:白眉プロジェクトは次代の学術を担える人材を育成するプロジェクトであるため、研究活動のエフォート率が60%を下回らない範囲であれば可能です。自身で今後のキャリアアップのために必要性があると考えるのであれば受入先とご相談ください。

## 【所属について】

Q22:白眉センターとはどのような組織ですか。

A:創造性豊かで、広い視野と柔軟な発想を持った次世代をリードする研究者の育成に関する業務を行うことを目的とする全学的な組織です。センターには、センターにおける管理運営など意思決定を行う運営委員会、採用候補者の選考等を行う選考委員会「伯楽会議」、及び採用者への指導助言を行うプログラムマネージャー等が置かれています。

## 【研究費及び研究場所について】

Q23:受入先とは、どのようなものですか。

A:白眉プロジェクト【グローバル型】においては、採用者は白眉センターに所属しますが、実際の研究は、原則として京都大学内の各部局において行います。この実際に研究を行う京都大学内の研究場所を受入先と言います。白眉プロジェクトでは応募にあたって、受入先の有無を審査の対象とはしていませんが、採用後の円滑な研究の実施のために、各応募者において事前に受入の内諾を得ておくことを推奨しています。

Q24:受入先の内諾については、誰にどのような内諾を取れば良いのでしょうか。また、どの程度詳しく記載すれば良いのでしょうか。

A:本プロジェクト採用者は、実際の研究を京都大学内の受入先で行います。そのため、応募者が研究することを受け入れる本学教員であれば、どのレベルの者（部局長、研究室の教授、准教授等）であっても結構です。記載については、可能な限り具体的に受入先となる研究者の氏名まで記載してください。

Q25: 受入先は、京都大学以外の機関でも良いでしょうか。

A: 京都大学内のみとします。

Q26: 受入先を確保していないと、選考上、不利になるのでしょうか。

A: 受入先の有無が選考に影響することはありません。

Q27: 提案書に複数の受入先を記載することも可能でしょうか。

A: 可能です。ただし、採用時に主となる受入先を決めて頂く必要があります。

Q28: 採用後に受入先を変えることは可能でしょうか。

A: 可能です。

Q29: 時限付きの部局（競争的資金等により設置された研究拠点・部門など）であっても、受入先とすることは可能でしょうか。

A: 可能です。時限終了時には、新たな受入先を探して頂きます。

Q30: 海外の機関での研究は可能でしょうか。

A: 本プロジェクトは次世代をリードする研究者を育成するものであるため、本人の研究の進捗状況等に応じて海外や他機関で研究することは可能ですが、本プロジェクト採用者については京都大学教員として採用されますので、あくまでも研究のベースは京都大学にあり、その研究の延長線上に海外や他機関での研究があるものと考えます。このことから、給与のみ京都大学から支給を受け、実態としては他機関の教職員のような形で研究を行うことは好ましくはありません。そのため、京都大学教員としての自覚を持つこと及び原則として当初半年間程度は国内を研究のベースとしてください。なお、採用者は白眉センターが主催する行事等に参加する義務がありますので、定期的開催されるこれら行事には海外にいたとしても原則的に出席頂くことになります。

Q31: 採用された場合、競争的資金の応募に対する制限はあるのでしょうか。

A: 各競争的資金の公募の条件にもよりますが、積極的な競争的資金の獲得を奨励しております。

## 【研究成果について】

Q32: 公募要領には「白眉センターによる中間評価等はいりません」とありますが、任期終了時の評価も行われないのででしょうか。

A: 中間評価と同様に、任期終了時にも白眉センターによる評価は行われません。なお、毎年度の研究活動の報告及び採用期間終了時の研究成果の発表は行っていただきます。

## 【選考方法について】

Q33: 京都大学出身者・在籍者が有利なのでしょうか。

A: 選考には影響ありません。

Q34: 指定された面接日時に他の予定が入っている場合、別な日時に変更して頂くことは可能でしょうか。

A: 指定された面接日時の変更は認めておりません。

Q35: 海外から応募しようと思っておりますが、電話やスカイプ等によるインタビュー形式での面接は可能でしょうか。

A: 電話やスカイプ等でのインタビュー形式での面接は認めていません。

Q36: 面接では、どの言語で行われるのでしょうか。

A: 応募者の選択に基づき日本語又は英語で実施しますが、当プロジェクトが国際的なプログラムであることに鑑み日本語を選択した場合でも、一部英語での質問を行うこともあります。

## 【選考結果等について】

Q37: 書類選考の結果については、どのように通知があるのでしょうか。

A: 応募者全員に E-mail にて通知します。通知時期については、5 月下旬を予定していますが、選考スケジュールにもよりますので変更の可能性もあることご理解願います。

## 【応募方法について】

Q38: 登録フォームへの応募者情報の登録はしましたが、期限内に提案書のアップロードをしなかった場合、審査されるのでしょうか。

A: 登録フォームへの応募者情報の登録と提案書のアップロードの両方が無ければ審査に付されません。なお、登録フォームは下記リンクからアクセスして下さい。

<http://www.hakubi.kyoto-u.ac.jp/form/form.php>

Q39: 参考資料として著書を郵送したいのですが可能でしょうか。

A: 公募要領で求められている書類以外の提出は認めておりません。

Q40: アップロードした提案書に誤りを見つけましたが、差し替えは可能でしょうか。

A: 期限までに再度アップロードしてください。その場合、前回アップロードされた提案書は削除されます。

Q41: 登録フォームで登録した情報に誤りを見つけました。修正は可能でしょうか。

A: 修正は不可能ですが、期限までに再登録することは可能です。2 件以上登録されている場合は、後から登録された内容を有効とします。

Q42: パソコンの動作環境により、登録フォーム上の「関連する研究分野」の選択がうまく作動しません。

A: 不具合があった場合は、公募要領に記載の問い合わせ先の E-mail アドレスまでご連絡下さい。

## 【応募締切について】

Q43: 応募締切日時は日本時間でしょうか。

A: 日本時間です。

Q44: 応募締切を過ぎてしまいましたが、受け付けてもらえないでしょうか。

A: 応募締切以後は一切受け付けません。

## 【提案書送信先について】

Q45: 提案書の提出方法がアップロードのみとなっていますが、郵送での応募は不可能なのでしょうか。

A: アップロードでのみ応募可能となります。郵送された場合には、審査対象外となります。

Q46: 京都大学に所属の者ですが、応募は部局の事務を通して行うのでしょうか。

A: 事務を通さず、直接ご応募ください。

## 【公募説明会について】

Q47: 説明会への出席は応募要件でしょうか。

A: 説明会に参加されていなくても、応募は可能です。

Q48: 説明会への出席については、登録無しで参加することは可能なのでしょうか。

A: 可能ですが、会場が満席の場合にはお席をご用意できないこともあります。

## 【問い合わせ先について】

Q49: 電話での問い合わせは、可能でしょうか。

A: 電話での問い合わせにはお答えしかねます。また、公募締切直前には、多くの方からのメールによる問い合わせが予想されるため、時間的余裕を持ってお問い合わせください。なお、応募書類の受信確認については、提案書アップロード締切後 1 週間を目途にメールにてご連絡いたしますので、それまでは応募者側から受信の有無について問い合わせることはお控えください。

## ● 提出書類等について

### 【提出書類全般について】

Q50: 署名や捺印すべき箇所はあるのでしょうか。

A: ありません。

Q51: 所定の様式ではなく、既に持っている既存の様式での提出は認められないでしょうか。

A: 認めていません。所定の様式をご使用ください。

Q52: 提出書類について、書類選考及び面接時は、カラー、モノクロのどちらで用意していただけるのでしょうか。

A: カラーで印刷します。

Q53: 英語と日本語のどちらで記入すれば良いでしょうか。

A: どちらでも構いません。

Q54: 英語、日本語以外の言語での記載は認められているでしょうか。

A: 認めていません。

### 【提案書、提案書作成・記入要領について】

Q55: 今年3月に博士の学位を取得見込みであるが、学位の欄にその旨を記載しても良いでしょうか。

A: 博士学位取得見込みである旨を記載してください。

Q56: 日本学術振興会特別研究員（PD）ですが、現在の所属先、職名はどのように記載するのでしょうか。

A: 現在の所属先については現在実際に研究に従事されている機関・部署を記載し、職名については、日本学術振興会特別研究員（PD）と記載してください。

Q57: 関連研究分野について、自分の研究に近い研究分野が3つ以上ある場合どのように記載すれば良いでしょうか。

A: 3つ以上ある場合でも、最も関連のある「細目」と次に関連のある「細目」の2つまでを必ず記載してください。

Q58: 関連研究分野に記載した内容はどのような目的に使われるのでしょうか。

A: 応募書類を第一次審査の審査区分に振り分けるために使います。書類選考は、白眉センター専門委員会において実施されることとなりますが、本欄に記載された関連研究分野を考慮した上で適切な審査区分において審査を行います。

Q59: 提案書の「研究計画等」には記載することの例示として「業績」の記載もありますが、提案書の中の「研究業績」欄で記載する内容との違いを教えてください。

A: 「研究業績」欄においては、論文等のリストを記載して頂くことを想定しています。他方、本欄においては、そのようなものではなく、これまでに具体的にどのような業績を上げられてきたのかを文章で記載してください。